

一般質問

市の明日を考える!

12月定例会の一般質問は、12月8日から11日までの4日間にわたり15人の議員が登壇し、活発な議論が展開されました。

主な質問について、各議員から寄せられた原稿を原文のまま掲載します。

[発言順]

堀 籠 新 一

[真 誠 会]



- 市長一期4年間の総括について
- 市長二期目の決意と重点施策について

問

- ① 合併後の初代市長4年間の総括は。
- ② 市長二期目の決意と重点施策は。
 - ① 子育て応援都市二本松について
 - ② ひとづくり、教育の振興について
 - ③ 高齢者の笑顔が輝くまちづくり
 - ④ 雇用拡大、産業の振興について
 - ⑤ 地域の特性を生かした農業振興について
 - ⑥ 自然、歴史、文化を生かした交流のまちづくりについて
 - ⑦ 住民が主役の地域振興について
 - ⑧ 自立できる自治体経営の行財政改革と来年度事業、予算編成の方針について

答

- ① 豊かな二本松市の実現に向け全力を傾注し、公約や各事業とも、長期総合計画に沿っておおむね計画通りに進んでいます。
- ② 長期総合計画に盛り込まれた事務事業の着実な実現に努め、公約に掲げた10大政策の実行に全力で取り組み、地域の特色を生かした一体的な振興発展を図ります。中学卒業までの医療費無料化や幼稚園、保育所の耐震補強工事の前倒し実施、雇用確保の要請活動や、限られた財源を有効に活用します。

三 浦 一 良

[政策ネットワーク二本松]



- 新規就農者の受入れ対策について
- 道路改良について

問

- ① ① 募集費用ふる里回帰支援センター「大地を守る会」ブース料旅費の支援は。
 - ② 地域支援ふる里案内人の育成支援は。
 - ③ 支援員宅でのインターン制度の義務付けについては。
- ② 南戸沢線第2工区について
 - ① 県営安達東部地域広域農道は実施は可能なのか。
 - ② 東和での負担金はどうか。

答

- ① ① 田舎暮らしの実践者や受け入れ農家等の方に協力をお願いしますので、それらに係る費用について予算化して参ります。
 - ② 本市ではこのような制度は設けていない所であります。
 - ③ 個人の権利等を制約するための義務付けは困難。
- ② 改めて交通量を調査して今後検討します。
 - ① 国及び関係市との事前協議が整い次第、選択申請をしていきます。
 - ② 既に事業費に充当済みです。

佐藤 有

[真誠会]



- 市長2期目の抱負と政策について
- 新型インフルエンザ対策、中学生の予防接種予定は

問

- ① ①農業、商工業の景気対策の施策はあるか、農業が元気にならないと他産業も活気づかないと思う。本市独自の景気回復対策を伺う。
② 中小企業を含む雇用の促進と定住促進及び人口増対策は。
- ② 新型インフルエンザ感染症対策、特に受験を控える中学生まで早期に予防接種が出来ないものか。

答

- ① ①市民生活の安定と市の振興発展は、産業の振興と活性化促進である。農業の経営安定つまり国民の命の源、食糧の安定供給である。国の戸別所得補償制度導入などを期待している。
② 雇用の維持と新たな雇用創出を図る。魅力ある企業の誘致で、地域の経済活動を活発にし、人口の流出を抑え、定住促進と人口増につながる環境整備をする。
- ② スケジュールの前倒しがされているが1月中旬頃の予定である。

中田 涼介

[真誠会]



- 「地域主権」に対する市長の考え方について

問

- ① 補助金の一括交付化に対する考え方について
- ② 地方六団体(市長会)の位置づけについて
- ③ 今後の陳情活動について
- ④ 現行法(地方自治法)との関連について

答

- ① ひも付き補助金が廃止され、地方が自由に使える一括交付金に改められることは歓迎する。
- ② 地方自治法に基づく総務大臣への届出団体であり、地方自治の興隆繁榮に寄与することを目的とする。
- ③ 直接民主党県連を訪問及び国会議員に対しても陳情してゆく。
- ④ 国と地方が対等の立場に立つという地域主権の実現については、現行法において、先ず国があり、国の管理監督の下、地方自治体があるとの構図になっている。

小林 均

[公明党]



- 市長2期目の市政運営について
- 深刻化する介護現場について

問

- ① ①総合的子育て支援策の中身と、中学生までの医療費無料化は。
② 大手門整備の必要性は。
③ 城山総合体育館の毎週水曜日一般開放を廃止することについて。



無料開放日の城山総合体育館

- ② ① 家族介護者への生活支援は。
② 本市の小規模多機能型居宅介護施設の現状と課題について

答

- ① ① ブックスタート事業、養育支援訪問事業、東和地域へ子育て支援センターの開設等。中学生までの医療費無料化は、来年10月からの実施を目途に進めたい。
② 国指定の史跡で、貴重な本市の歴史資源、保存の必要がある。
③ 他施設と同様、来年4月から一般利用で、無料開放は廃止する。
- ② ① 経済的負担を軽減できる様、各種支援事業を行っている。
② 平成22年度と23年度あわせて、2ヶ所の開所を予定している。

中 沢 武 夫

[無 所 属]



- 平成22年度予算編成について
- 県道安達太良山線及び市道若宮・鉄扇町線の整備について

問

- ①国が行った事業仕分けのような行政評価を行う考えはないか。
- ②①県道安達太良山線の整備は、数十年來の要望であるが、遅々として進んでいない。今後の計画は。
- ③20年度事業で概略設計を実施したが、その後の計画は。
- ④超危険箇所である鉄扇橋に歩道橋を設置できないか。

答

- ①予算編成時に1件ごとに検討、見直しており、今後の検討課題。
- ②①20年度事業で不動平地内より市街地に向かって320mの測量を実施。今後は、全線早期完成を目指し、県に強く要望する。
- ③概略設計を検討した結果、若宮から高速道路までの1.130mを整備する計画とした。
- ④鉄扇橋の歩道橋は、県の許可が必要な上、多額の費用がかかることから、今後検討する。

平 栗 征 雄

[政策ネットワーク二本松]



- スカイピアあだたらにパークゴルフ場の設置について
- 菊人形の事業継続について

問

- ①パークゴルフ場を設置すれば、老若男女がふれあう場が出来ると思うが、当局の考えを問う。
- ②①この事業は今後も続けていくか。
- ③市民の参加あるいは協力出来る施策はあるか



第55回菊人形

答

- ①パークゴルフ場設置については、新たな施設投資ともなるので、当面は温泉保養館利活用の推移等をみながら検討課題と考えている。
- ②①本市にとって「二本松の菊人形」は秋の最大の集客イベントであり、全国に二本松市の名をアピールする最大の事業でもある。引き続き開催していく。
- ③誘客宣伝、情報発信、来訪者を温かくお迎えいただく事などに取り組んでいる。更に積極的に推進していく考えである。

平 敏 子

[日本共産党二本松市議団]



- 社会保険二本松病院の公的存続と医療の充実の取り組みについて
- 後期高齢者医療制度について

問

- ①①市長選挙で「社会保険病院の公的存続を公約されていますが、これまでの取り組みは。
- ②産婦人科医の充足が緊急に求められておりますが見解は。
- ③①後期高齢者医療制度は、22年4月に保険料値上げと70歳から74歳の1割から2割への負担増となる。そこで普通徴収の保険料の滞納状況は。
- ②②特別の事情がない場合、保険料滞納者に資格証明書や短期保険証が発行できるが本市の状況は。

答

- ①①本市はもとより安達地方の中核医療機関として、なくてはならない重要な病院であり、存続について関係機関に要望してきた。
- ②②市内で出産できる産婦人科病院は二本松病院のみ、県や関係機関に要請。これまで同様の地域医療が継続されるよう二本松病院と連携し対応していく。
- ③①平成20年度保険料の滞納額は763,000円となっている。
- ②②本市ではいずれも発行していない。

高橋正弘

[政策ネットワーク二本松]



- 市政運営について
- コミュニティバス運行計画について

問

- ① 四年間振り返っての市長の市政運営の評価は、十大政策、基本政策の点検と評価は。市政全般についての舵取りは今のままで良いのか。
- ② 乗車券等の販売は民間にも委託するのか。旧市・町間の乗り入れは行うのか。

答

- ① 四年間の評価と十大政策、基本政策の点検、評価については実行あるいはその方向づけを行い、市政伸展に向けて成果を挙げることができたものとする。市政全般の舵取りは、長期総合計画の着実な実現に全力を傾注して市民の期待に応えていきたい。
- ② 民間の販売については今後検討する。旧市内の乗り入れは地域内交通と広域、地域間交通にわけて再編することとしており地域拠点と地域拠点を結ぶ交通は考えてない。

佐藤源市

[政策ネットワーク二本松]



- 観光立市推進事業について
- 地域おこし人材マップ作成について

問

- ① ①桜1万本のまちづくり事業の経過と次年度取り組みについて
② 本年度の観光客の入込みと次年度誘客事業の推進について
③ 夏無沼公園整備について
④ 市道夏無線整備について
- ② 特技、技能保持者のマップ作成をし観光交流等の事業への活用は。



夏無沼自然公園

答

- ① ①桜の名所の知名度アップを図るため新たな桜の名所を創出する。本年度5千本、次年度も取り組む。
② 前年同期対比102%で順調に推移し次年度は「イメージアップキャンペーン事業」によるPRをする。
③ 貴重な観光資源であり、地域のボランティアの方の協力を得、計画的に植栽し誘客宣伝に努める。
④ 東和地域の観光振興の支援事業として未舗装を計画的に実施する。
- ② 各分野の事業の問い合わせは、紹介しており今後検討する。

新野洋

[政策ネットワーク二本松]



- 22年度予算編成について
- 中心市街地活性化について

問

- ① 国の交付税を始めとする事業仕分けの影響についてどのように対応するのか。リーマンショックからドバイショック等の影響による危機的な経済悪化に起因する税収減をどの程度予測しているのか。
- ② 今回の事業仕分けで、戦略的中心市街地商業等活性化支援事業費補助金等、商店街・中心市街地活性化支援3事業が20%予算削減とされた。基本計画の事業認可に影響が出ないのか。

答

- ① 交付税、医療関係事業費等26事業に特に影響が出る。市長会等を通して国への要望を強める。税収減は21年度7%減、22年度は5%減を予測しているが、デフレ状況にあり再度検討を加える。
- ② 行政刷新会議の事業仕分けにより、商店街活性化支援事業が削減対象となり、少なからず影響が懸念される。今月下旬に内閣府に出向き、進め方について担当官と協議することとしている。

安部 匡 俊

[政策ネットワーク二本松]



- 小学校統合による廃校跡地利用について
- 政府の事業仕分により来年度予算が受ける影響について

問

- ① 住民センターと併設されている2校と単独の6校の管理はどうする。借用したい団体又は企業がいる場合どのようにするのか。インターネット公売はいつから行うのか。解体はいつから行うのか。
- ② 地方交付税交付金の影響は。農道整備事業について。中山間地域直接支払制度は。中山間地域総合整備事業への影響はあるのか。

答

- ① 公共事業への転用は考えていない。利活用できない施設は、撤去する方針。利活用を希望する事業者を募り、内容が地域の理解を得られるものは、積極的に貸借を進める。希望者がなければ、インターネット公売をする。それでも無ければ解体をする。
- ② 交付金については、削減も懸念される。農道現時点では不透明。直接支払制度は存続と思われる。総合整備事業は、ほとんど影響はないと思われる。

斎藤 康 晴

[市政刷新会議「未来」]



- 市長の政治姿勢について
- 円高・デフレ経済下の政策について

問

- ① ① 今回の市長選挙でマニフェストを発表しなかった理由は。
② これまで不祥事があれば市長は報酬カットなどの責任を取ってきたが、この度の職員の不祥事に対する市長の責任は。
- ② ① 年間予算250億円程度の二本松市では、経済対策には限りがある。この際思い切って人材育成に重点を置くべきでは。
② トップアスリート育成には施設(野球場、室内練習場、芝生サッカー場等)が足りていないが。

答

- ① ① 具体的なマニフェストではなく公約を発表した。
② 担当課長以下を処分した。市長としての責任の取り方は、今後の再発防止に努めることと考えている。
- ② ① 人材育成に力を入れたい。特にトップアスリート育成にも取り組む。
② 室内練習場は体育館改修で検討する。野球場、芝生サッカー場等については、早急に市民委員会を立ち上げ優先順位を決定する。

斎藤 広 二

[日本共産党二本松市議団]



- 土木建設工事などの入札制度の見直しについて
- あだち保育園の増築について

問

- ① ① 最低制限価格の引き上げについて
② 手持ち工事数の見直しについて
③ 予定価格の事後公表について
- ② ① 定員120人のため増築を要望してきたが、どのような検討がされてきたか。
② 平成22年度入所希望者と安達地区の0歳から5歳までの人口は何人か。

答

- ① ① 平成22年度の早い時期を目標に検討してまいりたい。
② 手持ち工事数は5件迄だが他市等を調査し早急に検討したい。
③ 平成16年7月に事前公表にしたが、県内他市の状況をみて検討したい。
- ② ① 国の臨時交付金で検討したが次年度に繰越できない為断念した。入所待機者も出たことから増築について検討したい。
② 入所希望者は149名。5歳まで595名になっています。

菅野 明

[日本共産党二本松市議団]



- 雇用問題について
- 今年の除雪について

問

- ① ① 高校新卒者の就職内定率が県全体で50%台と低い。市内高卒者の就職支援のため、市として何らかの対応を図るべき。
② 国民生活に困難と将来への展望を奪っている「労働者派遣法の抜本的な改正」と、アメリカは失業給付期間を最大140日延長することを決めた。厳しい雇用状況のもと失業時の生活保障でもある「失業給付の延長」を国に強く求めるべき。
- ② 今年の除雪体制は万全か。

答

- ① ① 二本松、大玉、本宮の行政や商工団体、県立高校、中学校長会でハローワーク二本松に事務局を置く安達地方雇用協議会を組織している。国・県の対策と連携し取り組む。市として新年度、緊急雇用事業として新規高卒者の臨時職員雇用を検討している。
② 国の雇用対策を見極め、更に必要な対策は市長会等を通じて協議、引続き要望していく。
- ② 昨年度比1社減の42社で除雪。交通の安全面で十分な対応を図る。

表彰

平成21年12月1日、二本松市表彰規則の規定に基づく市政功労者表彰式が行われ、市議会議員から次の方が表彰されました。おめでとうございます。



市議会の議員として6年以上在職し、功労表彰を受賞した三浦一良議員。(戸沢)



市議会の議員として6年以上在職し、功労表彰を受賞した高橋正弘議員。(太田)

新議員紹介



平成21年11月29日執行の二本松市議会議員補欠選挙で五十嵐勝蔵さん(66歳)が当選しました。任期は平成22年6月30日までです。

- ・議席番号／5番
- ・住所／二本松市茶園二丁目236番地
- ・電話番号／22-0457

議会傍聴

12月定例会第3日目の12月9日に塩沢住民センターの「高齢者学級」及び「女性講座」の受講生38名が議会傍聴に訪れました。

当日は一般質問のため活気のある討論が展開され、受講生も真剣に聞き入っていました。

皆さんも是非、議会傍聴においでください。

